



職場での流行を防ごう！

インフルエンザ予防接種のご案内

例年冬になるとインフルエンザが流行します。もしインフルエンザにかかってしまうと、約5日間も仕事や学校を休まなければならない、重症化してしまうおそれもあります。インフルエンザを防ぐために、予防接種をおすすめします。



昨年接種したら、
今年は受けなくて平気？

A

毎年受けるように
しましょう



季節性インフルエンザのウイルスは変異を重ねており、毎年流行するウイルス株は変わります。今シーズンの流行を予想してワクチン株も毎年変わり、そのシーズンのワクチンを接種することで効果を得ることができます。また、インフルエンザワクチンの効果は約5カ月程度しか続かないため、毎年接種するのが基本です。

2019/2020
冬シーズン



- A/Brisbane (ブリスベン) /02/2018 (IVR - 190) (H1N1) pdm09
- A/Kansas (カンザス) /14/2017 (X-327) (H3N2)
- B/Phuket (プーケット) /3073/2013 (山形系統)
- B/Maryland (メリーランド) /15/2016 (NYMC BX - 69A) (ビクトリア系統)



いつごろ受けるのが
効果的？

A

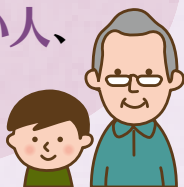
11月中に済ませ
ておくとう安心です



季節性インフルエンザの流行シーズンは例年12月～3月。ワクチンの効果は接種後2週間で得られます。大人は基本的に1回接種ですが、子ども（生後6カ月以上13歳未満）は2回接種（間隔は2～4週間あける）が必要です。例年の流行時期を考えれば、できれば大人は11月中、子どもはそれより早めに接種しておくとう安心でしょう。

とくにワクチン接種を受けておきたい

重症化の可能性が高い人、
重症化を避けたい人



- 65歳以上の高齢者
- 次のような持病がある人
呼吸器・心臓の慢性的な病気／糖尿病など代謝の病気／腎臓の機能の低下
- 幼児（ワクチン接種は生後6カ月から可能）
- 保育園、学校、高齢者施設など、集団で過ごす人